総合的な学習指導案

児　童：帯広市立緑丘小学校６年３組

指導者：教　諭　　橋　本　　隆　史

１．単元名

『自分の意見や感想を新聞社に投稿しよう』

２．単元の目標

（１）同じ世代の意見（投稿欄）を読み、新聞に関心を持つことができる。

（２）投稿欄を読み、それに対しての意見や感想を書くことができる。

３．新聞活用のねらい

今まで子ども達は、新聞づくりを主に取り組んできた。５年生のときは、十勝新聞教育研究会ＯＢによる出前講座で、基礎的な新聞づくりについて学習した。ここでは、新聞の名前を自分で決め、取材のしかた（インタビュー）やレイアウト・割りつけ方などを学んだ。また、地元の新聞社を見学し、新聞ができるまでを実際に見ることができた。そして、見学したことを新聞でまとめた。次に、自ら課題を見つけ、実際にお店や専門の会社にインタビューし、それを新聞にまとめ、発表した。６年生になり、社会科との関連で、歴史上の人物の新聞づくりに取り組んだ。これは、グループではなく、一人で歴史上の人物を選び、個人で責任を持って新聞を完成できるよう設定した。

今までは、なかなか継続的に新聞を読むことができなかったので、週２回に掲載される「みらい君の広場」（北海道新聞社）を活用することにした。理由は、小・中・高生からの投稿文なので、とてもわかりやすく、共感できる部分が多いと考えたからである。また、同世代の投稿を読むことで、視野を広げ、自分の考えを持ち、それを発信する力をつけさせたい。そして発展的に、自分の意見や考えを「みらい君の広場」に投稿させたい。もしそれが掲載されると、子ども達にとってとても励みになると思う。

４．学習展開

指導過程	学　習　活　動	教師の支援	評価
導入	３つの新聞の記事を読む	「みらい君の広場」の記事を提示する（プリント配布）	
展開	３つの記事の中から、一番共感できる記事を選び、感想や意見をワークシートに書く 選んだ記事でのグループをつくり、感想を交流しあう 自分の考えやお友達の意見をもとに、２００～３００字の感想を書く	ワークシートを配布する なかなか書けない子には、自分の今までの体験を振り返らせる 子ども達が選んだ記事を把握し、グループをつくる	投稿欄を読み、新聞に関心をもつことができたか 投稿欄を読み、それに対しての意見や感想を書くことができたか
結末	意見や感想を発表する（時間があれば）		